

人口減少地域 鏡野町における 医療・介護・福祉 経営協働化の試み

鏡野町在宅医療・介護連携推進協議会

連携推進部会 部会長

老人保健施設 虹 施設長

藤本 宗平



COI開示

本発表に関連し、開示すべき利益相反はありません

コンテンツ

- 01 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的
- 02 経営協働化の定義
- 03 経営協働化の主な内容
- 04 経営協働化によるメリット
- 05 今後の方向性

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

取り組みへの経緯

- 2026年3月16日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会全体会にてシステム部会からの提案
「医療・介護・福祉現場の働きやすい職場環境づくりに向けた経営の協働化」＊
- 3月30日** 株式会社 J社 管理者 と面談
- 4月 6日** 株式会社 C社 代表取締役 と面談
- 5月12日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会 総会
協議会の体制再編（部会の統合）が決定
- 6月18日** 苫田郡医師会総会にて概要の紹介
医療・介護連携のあり方と医療現場の働きやすい職場環境づくりの協議
津山・英田圏域地域医療構想調整会議において、「鏡野町 医療・介護・福祉
経営協働化」計画案を紹介
- 7月21日** 業務効率化の第一歩として、ケアプランデーター連携システムの普及を図る
研修会参加
- 8月 6日** オンライン研修会の開催

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

介護現場の働きやすい職場環境づくりに向けた
経営の協働化・大規模化の進め方ガイドライン

令和8年1月
厚生労働省 老健局

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

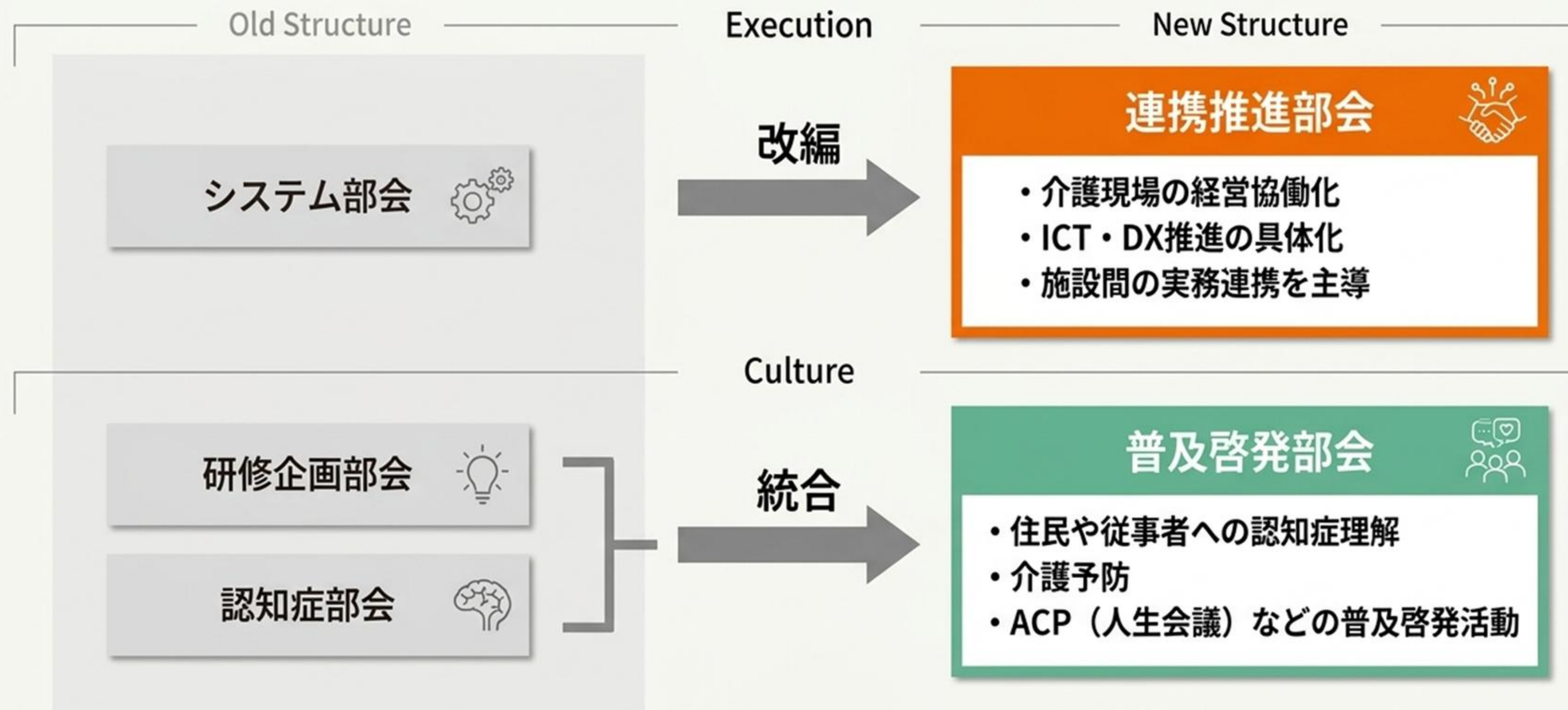
取り組みへの経緯

- 2026年3月16日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会全体会にてシステム部会からの提案
「医療・介護・福祉現場の働きやすい職場環境づくりに向けた経営の協働化」
- 3月30日** 株式会社 J社 管理者 と面談
- 4月 6日** 株式会社 C社 代表取締役 と面談
- 5月12日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会 総会
協議会の体制再編（部会の統合）が決定 ＊
- 6月18日** 苫田郡医師会総会にて概要の紹介
医療・介護連携のあり方と医療現場の働きやすい職場環境づくりの協議
津山・英田圏域地域医療構想調整会議において、「鏡野町 医療・介護・福祉
経営協働化」計画案を紹介
- 7月21日** 業務効率化の第一歩として、ケアプランデーター連携システムの普及を図る
研修会参加
- 8月 6日** オンライン研修会の開催

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

Lead Message

実効性のある「協議の場」を構築するため、既存の部会を再編・統合し、意思決定と実行のスピードを上げる。



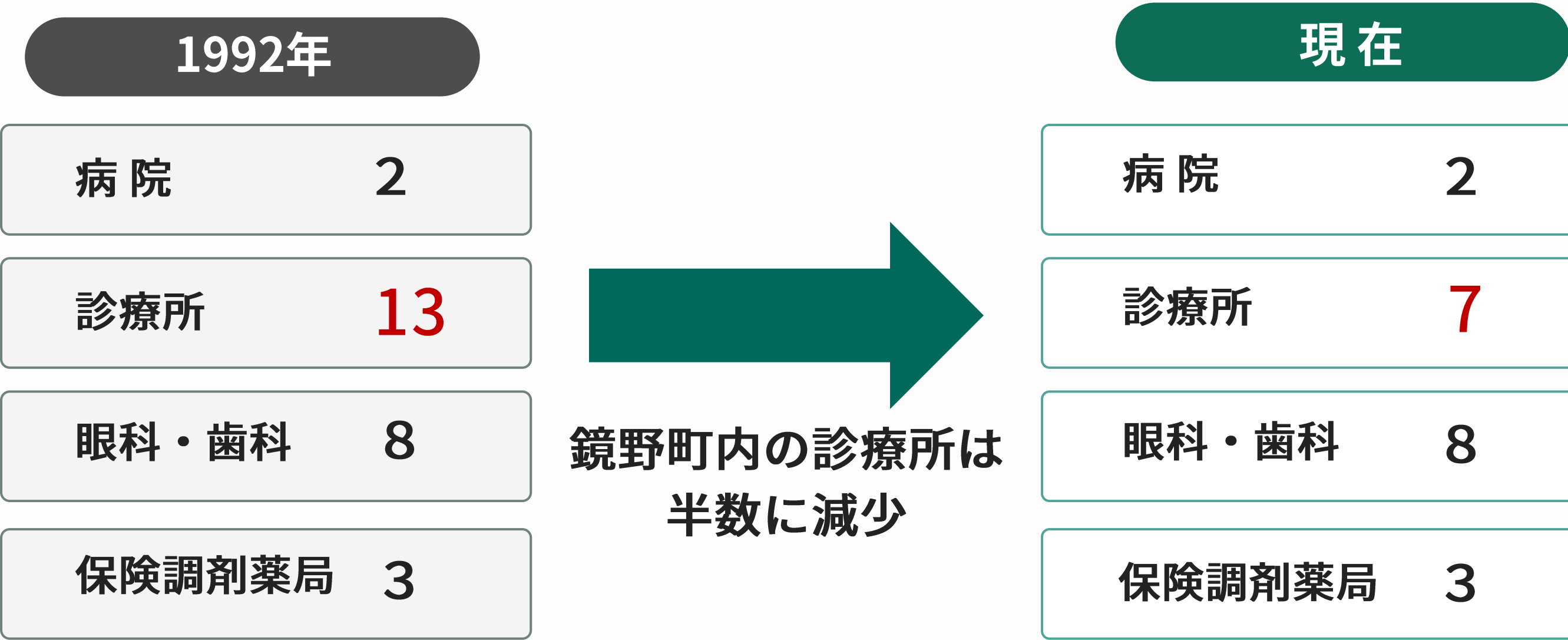
01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

取り組みへの経緯

- 2026年3月16日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会全体会にてシステム部会からの提案
「医療・介護・福祉現場の働きやすい職場環境づくりに向けた経営の協働化」
- 3月30日** 株式会社 J社 管理者 と面談
- 4月 6日** 株式会社 C社 代表取締役 と面談
- 5月12日** 鏡野町在宅医療・介護連携事業推進協議会 総会
協議会の体制再編（部会の統合）が決定
- 6月18日** 苫田郡医師会総会にて概要の紹介
医療・介護連携のあり方と医療現場の働きやすい職場環境づくりの協議
津山・英田圏域地域医療構想調整会議において、「鏡野町 医療・介護・福祉
経営協働化」計画案を紹介
- 7月21日** 業務効率化の第一歩として、ケアプランデータ連携システムの普及を図る
研修会参加
- 8月 6日** オンライン研修会の開催

鏡野町内の医療機関

計 20 施設



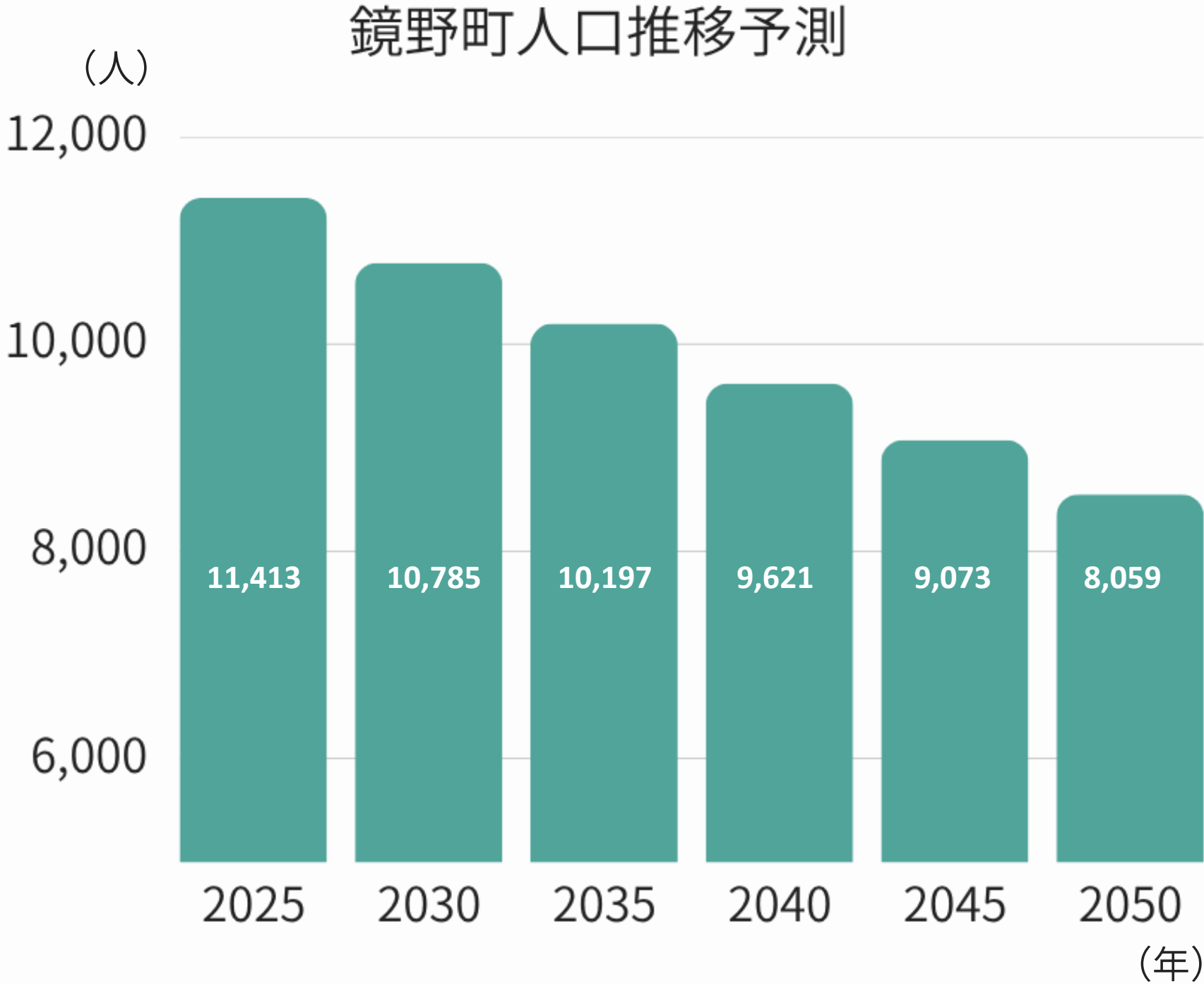
01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

- 1 居宅介護支援 **5**
- 2 訪問看護 **1**
- 3 訪問介護（ホームヘルプサービス） **2**
- 4 通所介護（デイサービス） **6**
- 5 通所リハビリテーション（ディケア） **1**
- 6 短期入所生活介護（ショートステイ） **2**
- 7 短期入所療養介護（医療型ショートステイ） **1**
- 8 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） **2**
- 9 介護老人保健施設 **1**
- 10 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） **5**
- 11 看護小規模多機能型居宅介護 **1**
- 12 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 **1**
- 13 福祉用具貸与・特定福祉用具購入 **1**
- 14 地域包括支援センター **1**
- 15 社会福祉協議会 **4**
- 16 養護老人ホーム **1**
- 17 住宅型有料老人ホーム **2**

鏡野町内の
介護保険事業所
計 **37** 施設

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

人口減と世帯の変化



鏡野町の	人口	11,958人
	世帯	5,602世帯
独居	65歳以上	1,464人
	75歳以上	1,052人
二人暮らし	65歳以上	1,001世帯
	75歳以上	657世帯

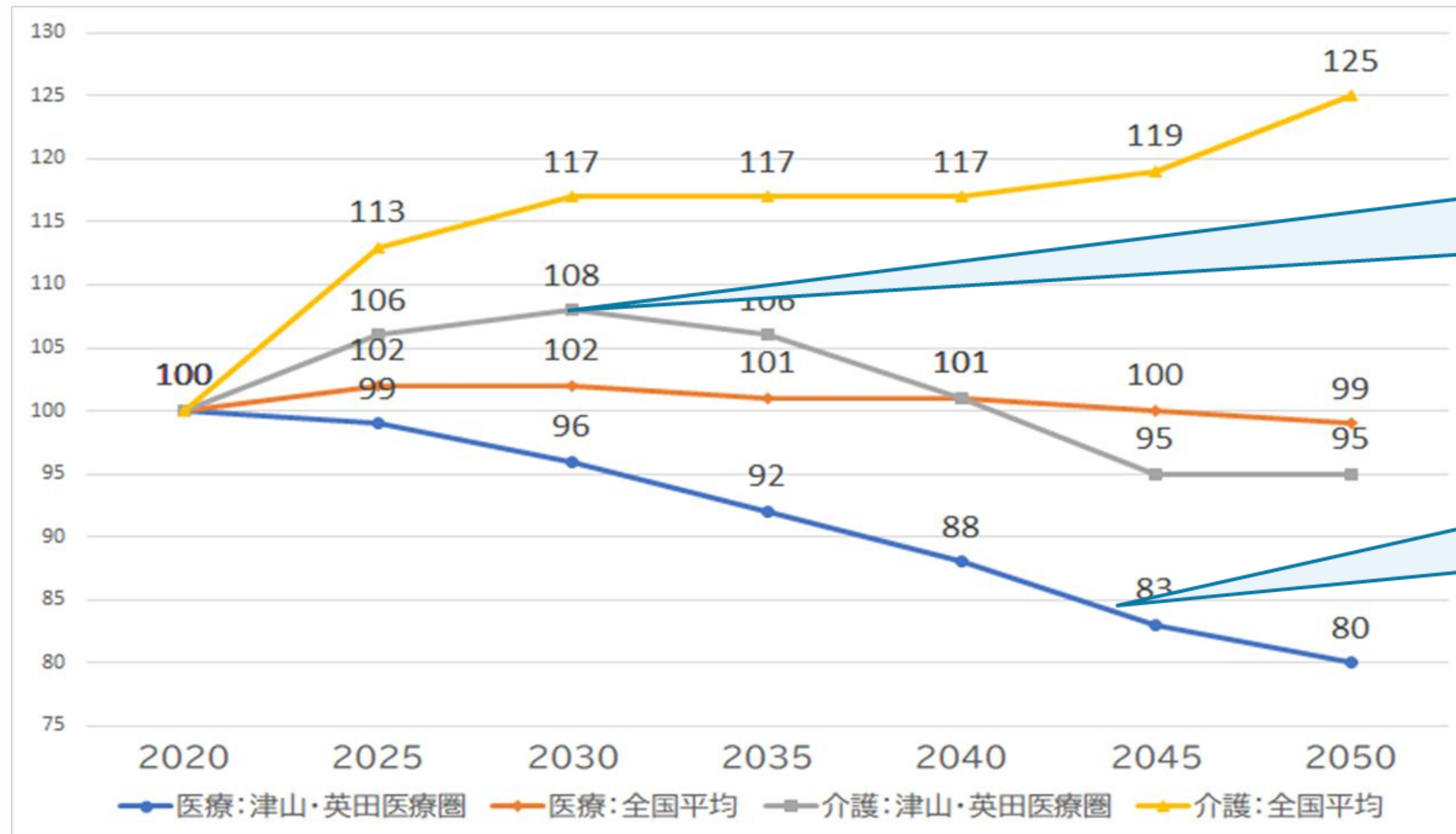


(2025年7月)

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

岡山県 津山・英田医療圏 医療介護需要予測指数 (2020年実績=100)

鏡野町をとりまく変化
＝津山・英田医療圏



介護は2030年を
ピークに減少へ…

医療需要はすでに
年々減少している

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と目的

人口減少にともなう人材不足、サービス需要の減少傾向
物価・人件費の上昇、職員の負担増大 など

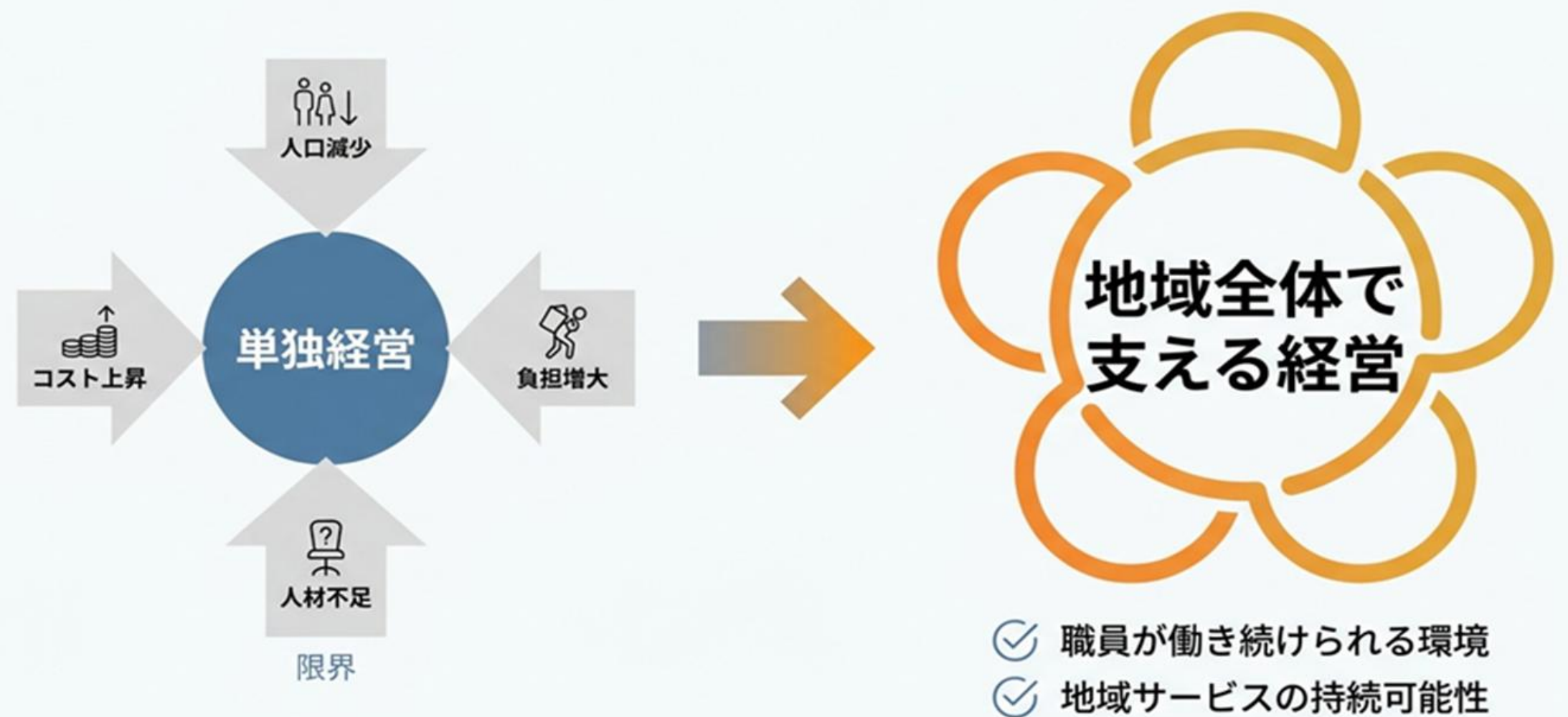
➡ サービス提供力の低下と質の低下
小規模事業所においては、単独での運営継続が限界に
達しつつある

➡ 地域住民と職員両者に不利不幸な状況に陥る

01 | 経営協働化の取り組みへの経緯と背景と**目的**

こうした課題を解決するため、「協働化」によりこれまでの
「単独経営」という考え方から脱却し「地域全体で支える経営」へと
転換を図ることで

職員が働き続けられる環境と地域サービスの持続可能性を確保すること
を目的とします。



02 | 経営協働化の定義

定義： 複数の法人や事業所がゆるやかに連携し、
人材・業務・設備・ノウハウ等 地域資源 を共有すること

社会福祉法人・医療法人・株式会社 等
法人格・業種を問わず、町内すべての関連機関が対象！

03 | 経営協働化の**主要内容**

人材確保、ICTの共同導入、オンライン研修、事務業務の共同化、災害時の連携、物品の共同購入などを対象とし、取り組みやすい分野から着手し、段階的に協働化を進める。

協働化の具体的なカタチ



共同採用



ICT共同導入



共同研修



事務協働化



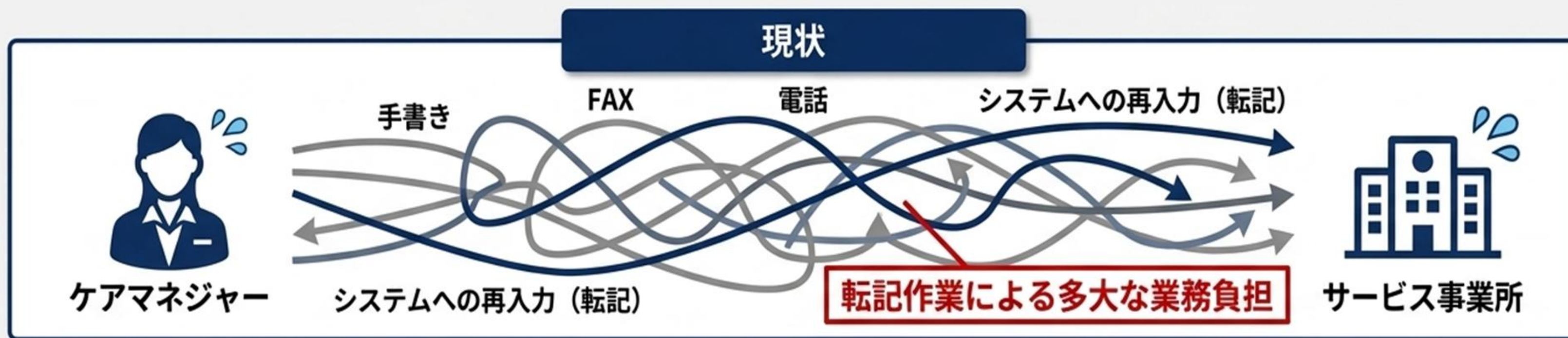
災害時連携



物品共同購入

03 | 経営協働化の主な内容

協働化の第一歩として、アナログ業務を根本から削減する『ケアプランデータ連携システム』の導入を最優先で実行する。



オンライン定期研修会

介護施設と協力医療機関・芳野病院のオンライン定期研修会

	日 時	テーマ	講 師
第 1 回	令和6年9月19日	①医療介護連携の強化、顔の見える関係強化報酬改定の意義 ②慢性心不全発症・増悪を疑うポイント	藤本 宗平 前原 宏樹
第 2 回	令和6年12月19日	①高齢者救急の現状と医療介護連携 ②今冬の感染症について	藤本 宗平 中山 洋一
第 3 回	令和7年6月30日	①高齢者の外傷 応急処置の仕方 ②認知症、BPSDの薬物療法について	伊木 道子 藤本 宗平
第 4 回	令和7年12月5日	①ACP(アドバンス ケア プランニング)の基本 ②ACPの実際	藤本 宗平 小倉 玲子
第 5 回	令和8年4月30日	①医療介護連携の強化、顔の見える関係強化報酬改定の意義 ②虐待につながる不適切ケアについて	藤本 宗平 米井 浩太郎
第 6 回	令和8年8月6日	①地域における医療・介護施設の連携 ②高齢者心不全増悪に気づくポイント	藤本 宗平 本名 二美

03 | 経営協働化の**主な内容**



芳野病院

介護施設と協力医療機関・芳野病院のオンライン定期研修会 より

オンライン定期研修会



老人保健施設



特別養護老人ホーム

オンライン定期研修会

	日 時	テーマ	講 師
第 6 回	令和8年8月6日	①地域における医療・介護施設の連携 ②高齢者心不全増悪に気づくポイント	藤本 宗平 本名 二美

20事業所 参加者 60名

職員は自施設から
離れず研修ができた

人手不足でもスキル
アップが可能

今後、オンラインで「AED救命法」
「ACPに関するグループワーク」
などを企画

04 | 経営協働化によるメリット



職員のメリット

- ✓ 業務負担の軽減
- ✓ 休暇取得の容易化
- ✓ 研修機会の拡大
- ✓ ICT活用による効率化
- ✓ 多職種交流による成長



経営側のメリット

- ✓ 採用力の向上
- ✓ コスト削減
- ✓ 経営の安定化
- ✓ BCP対応の強化
- ✓ 地域包括ケアの推進

05 | 今後の方向性

地域全体で支える地域医療・介護・福祉経営へ。今後求められる視点は、「単独最適」から「**地域最適**」へ、「競争」から「**連携**」への転換です。

持続可能な地域包括ケアシステムの深化

単独最適
競争

地域最適
連携



診療報酬、介護報酬改定情報
新たな地域医療構想・県調整会議
および区域調整会議の情報などより
早期の対策を立て、遅れをとらずに
「協働」して行動する

05 | 今後の方向性

Lead Message

経営協働化の真の目的はコスト削減ではない。
「働きやすい仕組み」を作り、地域住民が安心して暮らせる環境を未来へ繋ぐことである。

安心して暮らせる環境

将来にわたって持続可能な
医療・介護・福祉サービスの維持

負担の少ない協働

オンライン活用(グループワーク・リアルタイムアンケート)
自由な発想 / 無理のない参加

働きやすい仕組みづくり

DX導入 / 業務負担軽減 /
人員不足下でも定着する職場

「地域資源を共有し、鏡野町の未来を共に創る。」